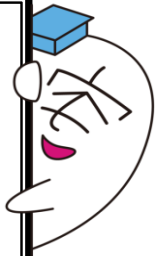


# 2018年度版 環境報告書

Utsunomiya University Environmental Report 2018



この報告書は、「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法）」（平成16年6月2日法律第77号）第9条の規定に基づき、作成し、公表するものです。

■対象組織 国立大学法人 宇都宮大学

■対象地区 峰町キャンパス、陽東キャンパス、附属学校、附属農場、附属演習林、国際交流会館、学生寮

■対象期間 平成29年4月～平成30年3月

# CONTENTS

—目次—

1. 学長メッセージ	1
2. 宇都宮大学について	
2-1 宇都宮大学の概要	2
2-2 宇都宮大学の組織	3
3. 環境方針	4
4. 教育研究活動	
4-1 植物の耐乾性を向上させる化合物開発と分子育種 バイオサイエンス教育研究センター 助教 岡本 昌憲	5
5. 学生サークル活動	
5-1 環境改善学生サポーター(ECHO)	7
5-2 LOMO	9
5-3 宇都宮大学生協学生委員会(C.C.S.)	10
6. 地域貢献	
6-1 地域貢献事業	11
6-2 公開講座等	11
6-3 学生ボランティア活動等	13
7. 環境パフォーマンス	
7-1 エネルギー消費量	14
7-2 ゴミ・紙・グリーン購入等	21
7-3 化学物質	23
7-4 環境配慮活動の取組事例	24
7-5 環境関連の法規制の遵守状況	25
8. 環境報告ガイドライン(2012年版)との準拠状況	26

## 1. 学長メッセージ

宇都宮大学は、150年近い歴史と伝統を持ち、そのルーツは明治から大正時代にかけて栃木県に設置された二つの教育機関、すなわち師範学校と宇都宮高等農林学校にあります。それぞれ、現在の教育学部と農学部の前身です。その後、地域からの強い要請を受けて54年前に工学部ができ、24年前には全国に先駆けて国際学部が設置されました。そして一昨年には、全国で初めての文理融合型の地域創成学部として、地域デザイン科学部が設置され、5学部からなる総合大学として新たな歴史を刻み始めています。

本学は、来年4月には社会からのニーズが高い、幅広い視野も兼ね備えた工学人材養成に向けて、工学部を4学科から1学科3コースに改組する予定です。更に、大学院についても全学一研究科2専攻に全面的に改組し、幅広い分野と連携した大学院教育を目指そうとしています。

また、本学では伝統を受け継ぎ、更に良き学び舎として発展するために「宇大スピリット:3C精神」を大切にしています。それは、自らのビジョンに向かって「Challenge」＝主体的に挑戦するC、「Change」＝自らを変えるC、さらに「Contribution」＝広く社会に貢献するCです。この3C精神を大切に育て、地域に寄り添った教育研究の伝統を受け継ぎながら、学生と教職員が一体となって、さまざまな新しい試みに挑戦し、未来に向かって変化しています。

さて、身近な地域から地球規模まで、環境に配慮した行動をとることは、この数十年の間、どなたも“タコができる”程に耳にし、日常生活の中でも意識的に実践していらっしゃると思います。しかしながら、地域の里山環境は劣化し、世界の温室効果ガス排出量は増加する一方です。そうした中、2015年には国連によりSDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」が定められ、「経済」、「環境」、「社会」といった観点から持続可能な世界の実現に向け国際的な取り組みが進められています。私たちとしては、こうした取り組みに強く賛同し、Goalsに向けた宇大らしい活動を、すべての学生・教職員と一緒に模索したいと思います。

本報告書では、2017年度に実施された教育・研究活動における環境配慮活動など本学の特色を踏まえた取組を紹介しました。これらは、本学として更に発展を期待している取組です。ご高覧いただくとともに、宇都宮大学の環境保全等の取り組みに、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

2018年9月  
宇都宮大学長

石田朋靖

